泌尿紀要 第45巻 第11号 1999年11月30日 発行（毎月1回 月末発行）1983年6月10日 第3種郵便物認可 ISSN 0018-1994

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

泌尿器科紀要

Acta Urologica Japonica

Vol. 45, No. 11 November 1999

ACTA UROLOGICA JAPONICA

Editor-in-Emeritus: Osamu YOSHIDA

Editor: Osamu OGAWA *Deputy Editor:* Akito TERAI

Advisory Committee

Masao AKIMOTO
Tadaichi KITAMURA
Masaru MURAI
Seiichi ORIKASA
Takashi KATAYAMA
Tomohiko KOYANAGI
Seiji NAITO
Juichi KAWAMURA
Takashi KURITA
Tadashi OHKAWA

Associate Editors

Sadao KAMIDONO
Makoto MIKI
Akihiko OKUYAMA
Tetsuro KATO
Shin-ichi OHSHIMA
Taiji TSUKAMOTO
Toshihiko KOTAKE
Ken-ichiro OKADA

Editorial Board

Hideyuki AKAZA
Yoshiaki BANYA
Junnosuke FUKUI
Eiji HIGASHIHARA
Senji HOSHI
Haruo ITO
Hiroshi KANETAKE
Takeshi KAWAMURA
Takuo KOIDE
Yoshinobu KUBOTA
Masaaki KUWAHARA
Masahiro MATSUSHIMA
Mieko MIYAKAWA
Teruhiro NAKADA
Yasunori NISHIO
Katsuya NONOMURA
Hiroyuki OHMORI
Kiyoki OKADA
Hiroyuki OSHIMA
Yutaka SAITOH
Kenji SHIMADA
Yoshiki SUGIMURA
Hideo TAKEUCHI
Ken-ichi TOBISU
Michiyuki USAMI
Hirohiko YAMABE
Kosaku YASUDA
Yoichi ARAI
Shin EGAWA
Tomonori HABUCHI
Yoshihiko HIRAO
Kyoichi IMAI
Susumu KAGAWA
Mutsushi KAWAKITA
Taketoshi KISHIMOTO
Munekado KOJIMA
Hiromi KUMON
Zenjiro MASAKI
Tsuneharu MIKI
Yoshinori MORI
Hiroshi NAKAMURA
Osamu NISHIZAWA
Yoshihide OGAWA
Yoshiyuki OHNO
Yusaku OKADA
Seiichiro OZONO
Yoshiaki SATOMI
Toshiaki SHINKA
Masayuki TAKEDA
Hiroyoshi TANAKA
Hiroshi TOMA
Tsuguru USUI
Hidetoshi YAMANAKA
Masao YOKOYAMA
Shiro BABA
Kimio FUJITA
Masamichi HAYAKAWA
Masahiko HOSAKA
Nobuhisa ISHII
Hiroshi KANAMARU
Nobuo KAWAMURA
Kenjiro KOHRI
Atsuo KONDO
Manabu KURIYAMA
Tadashi MATSUDA
Ikuo MIYAGAWA
Yorio NAIDE
Mikio NAMIKI
Shinshi NODA
Hiroshi OHE
Kenji OISHI
Tetsuro ONISHI
Young-Chol PARK
Hiroki SHIMA
Taro SHUIN
Ikumasa TAKENAKA
Saburo TANIKAZE
Shoichi UEDA
Sunao YACHIKU
Tamio YAMAUCHI
Tatsuhiro YOSHIKI

Managing Editor: Seiji MOROI, Hitoshi YAMADA
Language Editor: Sumiko KAIHARA *Secretary* Teruo NAKAI (1999.9.)

購 読 要 項（1996年1月改訂）

1. 発行は毎月，年12回とし，年間購読者を会員とする．
2. 一般会員は年間予約購読料10,000円（送料とも）を前納する．賛助会員は20,000円（送料とも）とする．払込みは郵便振替に限る．口座番号 01050-9-4772 泌尿器科紀要編集部宛．
3. 入会は氏名，住所を記入のうえ泌尿器科紀要刊行会宛，はがきか FAX にて申し込めば所定の用紙を送付する．

投 稿 規 定（1996年1月改訂）

1. **投稿**：連名者を含めて会員に限る．
2. **原稿**：泌尿器科学領域の全般にわたり，総説，原著，症例報告，そのほかで和文または英文とする．原著，症例報告などは他の雑誌に発表されたことのない内容でなくてはならない．
   (1) 総説，原著論文，その外の普通論文の長さは，原則として，刷り上がり本文5頁（400字×20枚）までとする．
   (2) 症例報告の長さは，原則として，刷り上がり本文3頁（400字×12枚）までとする．
   (3) 和文原稿はワープロを使用し，B5 または A4 判用紙に20×20行，横書きとする．年号は西暦とする．文中欧米語の固有名詞は大文字で，普通名詞は小文字で始め（ただし，文節の始めにくる場合は大文字），明瞭に記載する．
      (イ) 原稿の表紙に標題，所属機関名，主任名（教授，部長，院長，科長，医長など），著者名の順で和文で記載する．筆頭者名と，2語以内の running title を付記する．
         例：山田，ほか：前立腺癌　PSAP
      (ロ) 和文の表紙，本文とは別に，英文標題，英文抄録をつける．標題，著者名，所属機関名，5語（英文）以内の Key words, 抄録本文（250語以内）の順に B5 または A4 判用紙にダブルスペースでタイプする．別に抄録本文の和訳を添付する．ワープロ原稿可．
      (ハ) 原稿は，和文標題，英文標題，英文抄録，その和訳，緒言，対象と方法，結果，考察，結語，文献，図表の説明，図，表の順に配置し，原稿下段中央部に和文標題ページを1とするページ番号を付ける．
   (4) 英文原稿は A4 判用紙にダブルスペースでタイプし，原稿の表紙に標題，著者名，所属機関名，Key words（和文に準ず），running title（和文に準ず）の順にタイプし，別に標題，著者名，所属機関名，主任名，抄録本文の順に記した和文抄録を英文原稿の後に添付する．和文原稿と同様にページ番号を付ける．
   (5) 図，表は必要最小限にとどめ，普通論文では図10枚，表10枚まで，症例報告では図5枚，表3枚までとする．
      図，表，写真などはそれぞれ台紙に貼付し，それらに対する説明文は別紙に一括して一覧表にする．説明文は英文とする．原稿右欄外に挿入されるべき位置を明示する．写真はトリミングし，図　表は誤りのないことを十分確認のうえ，トレースして紙焼したものが望ましい．様式については本誌の図　表を参照する．写真は明瞭なものに限り，必要なら矢印（直接写真に貼付）などを入れ，わかりやすくする．
   (6) 引用文献は必要最小限にとどめ，引用箇所に引用文献番号を入れる．文献番号は本文の文脈順に付すこと（アルファベット順不可）．その数は30までとする．
      例：山田[1,3,7]，田中ら[8,11~13]によると…
      雑誌の場合 — 著者名（3名まで，それ以上のときは「ほか」「et al.」とする）：標題．雑誌名　巻：最初頁-最終頁，発行年
         例 1) Kälble T, Tricker AR, Friedl P, et al.: Ureterosigmoidostomy: long-term results, risk of carcinoma and etiological factors for carcinogenesis. J Urol **144**: 1110-1114, 1990
         例 2) 竹内秀雄，上田　眞，野々村光生，ほか：経皮的腎砕石術（PNL）および経尿道的尿管砕石術（TUL）にみられる発熱について．泌尿紀要 **33**：1357-1363，1987
      単行本の場合 — 著者名（3名まで，それ以上のときは「ほか」「et al.」とする）：標題，書名．編集者名（3名まで，それ以上のときは「ほか」「et al.」とする）．版数，巻数，引用頁，発行所，出版地，発行年
         例 3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: Urolithiasis Research. Edited by Fleish H, Robertson WG, Smith LH, et al. 1st ed., pp. 331-334, Plenum Press, London, 1976
         例 4) 大保亮一：腫瘍病理学．ベッドサイド泌尿器科学，診断　治療編．吉田　修編．第1版，pp. 259-301，南江堂，東京，1986
   (7) 投稿にあたっては，本誌を十分参考にして体裁を守ること．
   (8) 原稿は，オリジナル1部とコピー2部（図，写真は3部ともオリジナル）を書留で送付する．万一にそなえて，コピーを手元に控えておくこと．
      （原稿送付先）〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18　メタボ岡崎301号　泌尿器科紀要刊行会宛
3. **論文の採否**：論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される．ただし，シンポジウムなどの記録や治験論文については編集部で採否を決定する．

4. **論文の訂正**：査読審査の結果，原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること，なお，Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある．
5. **校正**：校正は著者による責任校正とする．著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する．
6. **掲載**：論文の掲載は採用順を原則とする．迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること．
   (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円，英文は6,500円，超過頁は1頁につき7,000円，写真の製版代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける．
   (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する．5頁以内は30,000円，6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける．
   (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については，掲載料を別途に申し受ける．
7. **別冊**：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する．

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
   e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編　集　後　記

今年度の文化功労者に日野原重明先生が選ばれたことは，本当に嬉しいことである．文化勲章や文化功労者は医学関係の場合，際だった研究業績をあげた人々に贈られることが多い．もちろん，日野原先生も立派な研究業績をあげておられるが，それよりも医学教育，看護教育，医療制度の改善などに尽くされたご業績が評価されてのご受賞は，誠に意義深くよろこばしいことである．

1911年生まれの先生は今年88歳になられたが，50年以上にわたる内科臨床医としての日常業務の上に，医学教育，特に研修医教育，看護教育の改善に日本のリーダーとして果たされた先駆的ご活躍，聖路加国際病院の理事長，病院長，聖路加看護大学の学長という管理職としてのご業績など，ただただ感服するのみである．さらに講演，執筆，いろいろな団体の役員など，分刻みのご予定を何でも無いかのようにこなしておられる．集中して仕事をする習慣がつけば何でもないと仰るが，真似のできることではない．

先生はウィリアム　オスラー博士を心の師として今日にいたったといわれているが，日本には日野原先生を心の師と仰いでいる人々は小生を含めて少なくない。いつまでもご健勝であられることをお祈り申し上げる。

（吉田　修）

泌尿器科紀要　第45巻　第11号　　1999年11月25日　印刷　　1999年11月30日　発行
発行　小　川　　修　　顧問　吉　田　　修　　発行所　泌尿器科紀要刊行会
〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18　メタボ岡崎301号　電 話 (075) 752-0100
FAX (075) 752-0190
印刷所　山代印刷株式会社　京都市上京区寺之内通小川西入